

市政報告 Vol.6

市議会議員 **無所属**

井上じゅんこ

Change Kitakyushu

あきらめない。
変革と成長。

若者が住み続けたい街へ

井上じゅんこはこんな人!

政治理念「国政政党・団体に影響受けない!市民ファーストしがらみ不要」

- 1986年生/北九州市育ち/3児(中学生3人)を子育て中
- 2005年 八幡高校理数科 卒業
北九州市役所(行政職)へ入庁 元市職員(行政)
(区役所窓口・生活保護ケースワーカー・産業経済局・市民文化スポーツ局等)
- 2016年 全国初の市職員コスプレPR「バナナ姫ルナ」として市PRに貢献、全国メディアから注目される。
- 2021年 市議会議員に立候補・初当選
(八幡西区トップ・政党公認・団体推薦なしの無所属にこだわる)
政党紐づく既存会派に所属することなく、一人で会派「変革と成長」を新設
- 2023年 16年ぶり市長選で武内候補(現市長)を応援。
自民党若手市議2人と合流し、会派「自民未来」へ加入。
約50人の政党市議が支援する対立候補に僅差で、武内候補が当選となる。
- 2024年 新市長応援市議2名が国政(9.10区)へ進出表明。たった一人で武内市政の実現を推進していく決意として「変革と未来」に会派を刷新。



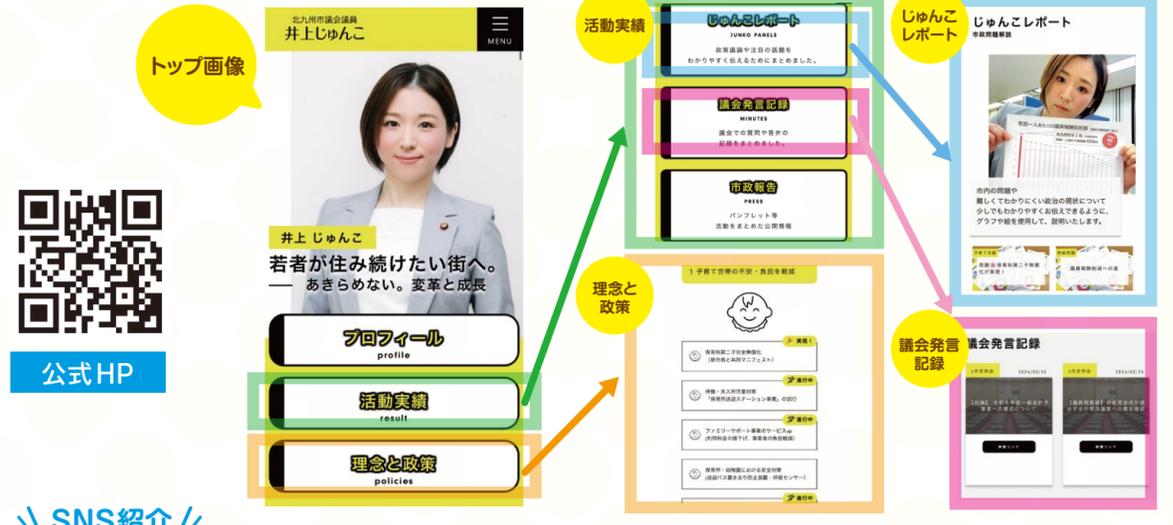
市政変革が加速!

- 1 保育料第二子無償化が実現!
- 2 議員報酬削減が実現!
- 3 施設の老朽化対策に向き合います!
- 4 財政危機の脱却を目指す!

市議会議員で活動情報公開 No.1 を目指しています!

1 活動情報をもっと!見やすく!公式HPのリニューアル

見どころ、使い方の説明!



SNS紹介!

LINE登録 募集中!

2 会派を刷新「変革と未来」へ。

この度、同じ会派(3人)のうち、2名が「国政進出を表明。市議会に戻らない」という固い意志を受け止め、一人で武内市長のマニフェスト(市民と約束した政策)の実現を推進していきます。市政へのモットーは「市長と馴れ合いではない、厳しさをもった激励を」



3 新・事務所のお知らせ

事務所を引っ越し・新設へ

これまではレンタル形式の専用スタッフ常駐でない事務所でしたが、今後は対話しやすい事務所を用意することになりました。ご利用の際は、事前にご連絡ください。確実・丁寧に対応いたします。

●電話番号 093-600-4012 ●住所 (北九州市八幡西区穴生二丁目2-8 2階)



4 市政相談はこちら

●メール info@junkoinoue.jp

問い合わせフォーム



「新・武内市長のもと

市政変革を加速していきます



1 保育料第二子無償化が実現！

実験をもつて政策の必要性を訴える

これは、私自身が20歳代前半で3人出産（仕事復帰しながら）した経験があるためです。

よく子育て支援は「親を支援するだけでは？」という声もあります。その声は自分事として受け止めませんが、確実に言えるのは、「親の笑顔」「親の精神的かつ経済的余裕」は豊かな子育て環境に繋がると実験をもつて言えます。

現代社会において、女性の社会進出が当たり前になってきただけでなく、家庭において所得が上がらない中で「女性の就労が家計を支える」という現状もあります。

少子化対策の観点においても、「保護者の負担」は強く影響しています。国の調査においても「理想の数の子どもをもてない理由」として、「一番の原因は「子育てや教育にお金がかかりすぎる」ことが分かっています。*

※国の調査で「多産が難しい理由（理想の数の子供を育てない理由）」として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が直近20年間でずっと1位！

保育料って実は高い！という衝撃

私の出産時と異なり、今は就学前の幼稚園・保育料は無償化。しかし、3歳未満児はこれまで通り、所得とともに毎月約2万円〜9万円と必要に。少子化問題を考えれば、「せひもう一人を！」とお願ひしたいところが、大きな負担がのしかかっています。共働きが増えている今は、多くの家庭の問題になっていました。負担が変わる問題になっていました。さらに、兄弟の年齢差で家庭の負担額が変わってくる制度は「せひもう一人産んでほしい！」と求める方針に合っています。

R5年市長選の追加マラエストへ

市長選では、厚労省出身の武内市長だからこそ、「市独自の子育て支援を！」ということと、発表された子育て支援政策です。私も財源の試算や、この発表ボードの作成などサポートさせてもらった想いある政策が実現して感無量。

「早期実現にむけた財源確保」を提言

子育て支援政策の実現の壁は...やはり財源。

どんなにマニフェストで掲げて市長に就任したとして「市長。財源が確保できていませんので無理です」と断られた、赤い橋で有名な若戸大橋も金属片が地上25Mから落下事故も発生。老朽化問題が深刻な状況となっています。

一斉点検と必要な修繕を課題に引き合う新市政へ

これまでも外壁落下は続いていたものの、「人的被害がなければ発表しない」「現場の学校教諭による目視」という非常に危機意識の低い方針であったことが判明しました。

施設の維持管理には、落下等の事故が起きない「予防保全」を望ましいとしながらも、修繕費を削減する理由で「事後保全(カットハン)」となっていました。

また、若戸大橋は昭和38年に建設後、毎年約5億円予算で塗装・補修作業を行ってきましたが、平成26年を最後に塗装作業の頻度を下げて実施することで、**期間空けての上塗り**が困難な状況のまま問題先送り。

「市民の安全・安心を守る老朽化対策チーム」立ち上げ
学校全203小中学校で専門業者による緊急点検→約9割の学校に修繕を実施。夏休み中に修繕完了
市営住宅緊急点検、379団地の内136団地に修繕実施
その他施設 市民センターや文化施設など124施設も修繕と重点観察を実施

いなるのか

3 施設の老朽化対策に向き合います！

事故発生...市政はどうなっているのか

令和5年4月21日。市内小学校門司区)で校舎の外壁が落下し、児童5名が負傷(足の指骨折、頭部に腫れ等)という「起きてはいけない事故が発生しました。その後、校内にあるトーンボールが腐食して転倒し、教員の車へ接触被害も発生。ま



塗装中の若戸大橋

られるのが自治体運営の悲しい事実。もちろん、市独自政策として、長期的にみて自主財源(市の収入)で賄うことが望ましいですが、多くの市民から「まだ?これを期待し武内市長に投票したよ!」という声。

その声に早期に答えなければ、期待した保護者も「子どもが対象年齢じゃなくなる」と恩恵を受けられません。令和5年4月臨時会において令和5年度6月予算で年度内実現をできるか?の時間がない厳しい状況でした。

そこで、私が提案したものは国財源(物価高騰対策)である「地方創生臨時交付金」を暫定的に活用するというものです。

実現と今後の展望

多くの予算事業がある中で、優先して予算調整し、就任後R5年12月から実現へ。しかし、まだまだ問題は山積み。

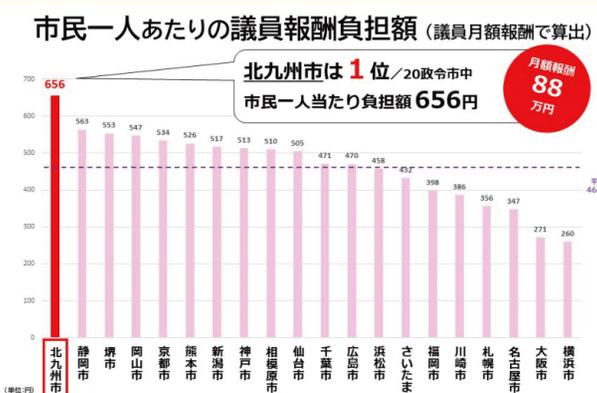
なぜなら、「無料なら保育園が利用しやすい!」といつても、待機児童問題と言われるように、「預けられる保育所」が十分ではないのです。それでは、利用条件が合わないということだけではない、そもそも「保育士が足りない」という難しい問題があります。国が処遇改善と言いつつも、微々たる収入の上乗せ、仕事の負担はほとんど変わりません。さらに人口吸引力の高い福岡市は保育人材をさらに集めようと独自で奨学金

減免を実施し、北九州市は保育資格を取得しても地元就職は3割以下。このままでは、「保育サービスを受けたくても受けにくい」まちとなり、さらに子育て世代、若い女性が流出する要因になり得ると危惧し、市議会(R6年3月)で保育人材の確保強化を求めています。

2 議員報酬削減が実現!

なぜ報酬削減が必要?

私は某政党のように「身を切る改革」という政治的なキャッチフレーズ



私「議員報酬削減ありきの議論開始を速やかに求める」決議案を提出↓否決
令和5年12月 ※会議が公開されず、議論の動きが見えない6カ月間。
私「議員報酬削減ありきの議論開始を速やかに求める」決議案を提出↓否決
令和5年3月 議長「議会にも目線を合わせた(報酬カット)を求めたい」と要請。
令和5年6月 議長「削減ありきではない」報酬削減の議論を開始することを発表する
令和5年2月 市長選で「議員報酬1割カット」を掲げた武内候補を支援↓当選
令和4年6月 私「議員報酬及び議員定数削減の検討開始」決議案を提出↓否決
令和4年6月 議長「削減ありきではない」報酬削減の議論を開始することを発表する
令和4年1月 議長「議会にも目線を合わせた(報酬カット)を求めたい」と要請。
令和3年3月 議長「削減ありきではない」報酬削減の議論を開始することを発表する
令和3年3月 議長「削減ありきではない」報酬削減の議論を開始することを発表する

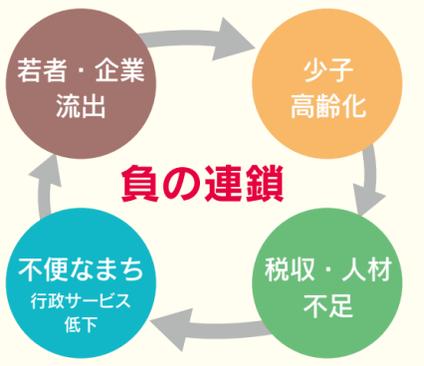
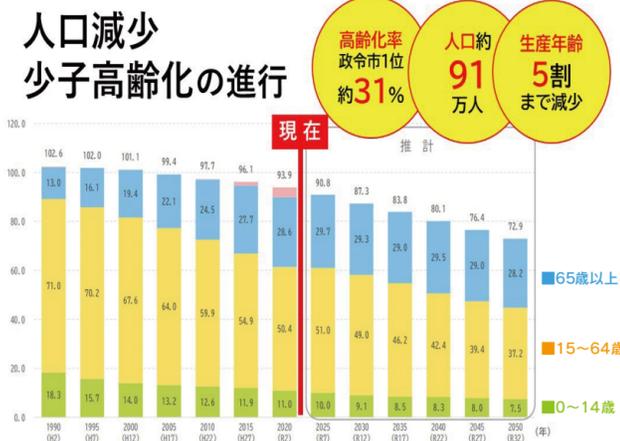
今後の方針

- 12年おきの法定点検に加えて、新たにドローンによる赤外線調査を導入
- 一斉な補修作業とならないよう、補修計画の前倒しで計画的に補修作業を実施
- 老朽化施設の「残す」「解体」の早期判断と、「残す」施設へ適正な維持管理へ

4 財政危機の脱却を目指す!

北九州市は人口減少が止まらない:課題山積みのまち

「子どもが減ったよね」「市外に出ていった子ども、孫が帰ってこない」という声をいただきます。皆さまのご想像のとおり、若い世代が市外に



「子ども」と「高齢者」の支援議論の二極化ではなく、少子化と人口流出によって世代バランスが崩れたこと。さらに、日本全体で人口が減るにも関わらず、他のまちへ流出してしまふ。この負の循環をあきらめてしまふと、行き着く先は「まちの消滅」です。北九州市は九州で一番に100万人都市、政



新たな目で財政運営をチェック!

財政危機を受け止め、武内市政で、「新たな目(民間人材)、新たな手法(縦割り超えた課題抽出)」で事業総点検を行いました。まずは令和6年度予算で事業の統合・効率化の観点で約100億円のお金の使い方の見直しを実行。さらに、市政変革推進プランを策定し、「二時的・その場しのぎ」ではない課題抽出と見直しへと前進しています。まだまだ、スピード感に欠ける点や市民への説明不足がないように結果を出せるよう武内市長に「頑張れ頑張れ!」と叱咤激励を続けていきます。